

日時 令和2年2月5日(水)

13:00 ~ 14:00

場所 B棟2階 センター

◇あいさつ

◇案 件

- 1 氷見市副市長の全国公募について 別紙
 - 2 海浜植物園リニューアルに向けた富山大学芸術文化学部との連携事業 . . . 1
 - 3 「Little HIMI」の開催 4
 - 4 氷見市地域づくり講演会 6
 - 5 新文化交流施設の民間施設事業者を公募します 9
 - 6 地域セーフティネットフォーラムの開催 10
 - 7 健康づくり講演会の開催 12
 - 8 氷見市エネルギーフォーラムの開催 14
 - 9 博物館特別展「応響雑記の世界」～近世の氷見町を訪ねる～ 17
 - 10 農業遺産シンポジウム「農業遺産の意義とその活用」の開催 20
- 令和2年1月中にいただいたご寄附について 22
- 令和2年2月～3月の主な行事予定 24

◇出席者

市長、副市長、教育長、企画政策部長、市民部長、建設部長、教育次長

令和2年3月定例記者会見予定
令和2年3月3日(火)
午後1時から

(お問合せ先)
氷見市 企画政策部
秘書広報課 広報担当
TEL 0766-74-8012 FAX 0766-74-0692

氷見市海浜植物園リニューアルに向けた 富山大学芸術文化学部との連携事業について

概要

令和2年4月のリニューアルオープンを目指し準備を進めている氷見市海浜植物園において、産学連携の取り組みとして、富山大学芸術文化学部の学生による園内に設置するサインデザインの提案発表会を行います。

これは、富山大学芸術文化学部の学部3年次生を対象とした授業「サインデザイン演習」において、新設されるリカレント研修室2階床面に、学生提案によるサインデザインを施すもので、2月6日(木)午前10時から、海浜植物園2階ワークショップにて、学生ら約30名の制作プレゼンテーションを実施し、デザイン案を選出します。

また、富山大学芸術文化学部有田研究室の学生提案による海浜植物園オリジナルのレジャーシートが生まれました。海浜植物園で限定販売されるレジャーシートに様々な種類のスタンプを自由に押しってもらうなど、自分だけのレジャーシートを作るワークショップを今後開催するほか、生き物の羽や実物大の植物レジャーシートを貸し出すことを検討しており、子どもたちが園内で遊び、学べるレジャーシートとして、リニューアルする海浜植物園を彩るプロジェクトです。なお、本作品は2月8日(土)から始まる富山大学芸術文化学部の卒業研究制作展でも展示予定となっております。

産学連携により、リニューアルする海浜植物園のさらなる魅力向上を図る取り組みとなります。ぜひ、取材賜りますようお願い申し上げます。

日時・場所・内容など

- 1 日 時 2月6日(木) 10:00～12:00
- 2 場 所 氷見市海浜植物園 2階ワークショップ
- 3 行事、催し等の内容
 - (1) 学生ら約30名によるサインデザインの提案発表会
海浜植物園のリニューアルに関わる設計者、指定管理者、氷見市による人気投票を行い、新設されるリカレント研修室2階床面に設置するデザイン案を選出します。

添付資料

サインデザインの提案発表会開催案内(チラシ)
海浜植物園オリジナルレジャーシートについて

お問合せ先

花みどり推進室 担当者名：鎌仲・伊東・伏喜(電話) 0766-91-7117

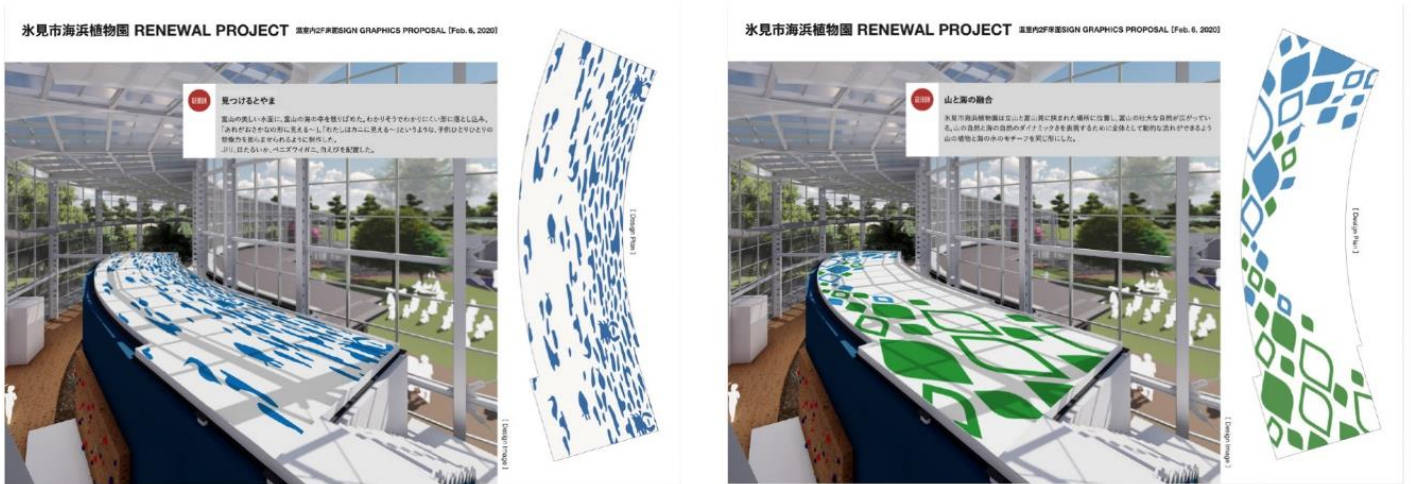
(添付資料1) サインデザインの提案発表会について

氷見市海浜植物園 RENEWAL PROJECT by GEIBUN

2020.2.5

富山大学芸術文化学部の授業「サインデザイン演習」(学部3年次生を対象)において4月にリニューアルを行う氷見市海浜植物園の園内に設置するサインデザインを制作致します。(ネット遊具の利用者から見えるエリア:リカレント研修室2F床面が対象となります)

2月6日(木)10時より氷見市海浜植物園ワークショップルームにて学生ら約30名の制作プレゼンテーションを実施、実際に設置するデザイン案を選出します。(以下は現在検討中の案からの抜粋となります)



(添付資料2) 海浜植物園オリジナルレジャーシートについて

制作者: 富山大学芸術文化学部 4年 こぎそ あやか 小木曾 文香 さん



氷見市海浜植物園リニューアルにおける サービスデザインの提案

富山大学 芸術文化学部 4 年 小木曾 文香

富山県氷見市にある氷見市海浜植物園。2020年4月にリニューアルオープンする。新しくなる施設の来場者を増やす試みとして、園の中心にできる芝生広場に着目。そこで使用してもらおう、3種類のレジャーシートを中心とするサービスデザインを提案する。素材は環境に優しい、山陽製紙の「crep」を使用。レジャーシートを活用し、子どもから大人まで芝生広場の上の人が集まることをねらいとする。

～制作の感想～

私が制作したレジャーシートを使ってもらうことで、親子のコミュニケーションを生み出したり、子供達に楽しんでもらえたらいいなと思います。この提案が、園の来場者を増やす一つの要因となってもらえたら嬉しいです。

(添付資料2) 海浜植物園オリジナルレジャーシートについて



自分だけのレジャーシートを作ろう！

スタンプレジャーシートワークショップ



スタンプを押したりペンで書き込むことで、自分だけのレジャーシートをつくるワークショップ。デザインは春、夏、秋の3種類。このデザインを元に自由な発想でスタンプを押してもらおうことで、子どもの想像力や感性を引き出す。また作ったものを園の芝生広場で使ってもらおうことで園の利用に繋がる。



大きな葉っぱの上に寝転ぼう！

実物大植物レジャーシート



実寸大の植物の葉が描かれたレジャーシート。まるで植物の上にいる気分になれる。実物と同じ大きさを実感でき、植物の説明が書かれているので勉強になり、葉の字びの要素を増やす事ができる。貸し出されていない時は、葉の壁面に吊るすことで装飾にもなる。デザインは全8種類。



生き物になりきって遊ぼう！

生き物の羽レジャーシート



生き物のイラストが描かれたレジャーシート。背中に背負うことで、まるでその生き物になりきったように遊ぶことができる。園内の遊びの要素を増やすことができる。デザインは「てんとうむし」「ちようちよ」「クワガタ」の全3種類。

～ 東京で現在進行形の氷見と繋がるランチタイム交流イベント ～
『Little HIMI』の開催について

概要

氷見市IJU応援センター(みらいエンジン)が、東京のど真ん中に、富山・氷見を語るコミュニティをつくる交流イベント「Little HIMI」を開催します。

この企画は、移住を検討されている方や、氷見出身の方、氷見にご縁はないけれど氷見が好きという方など、氷見に興味を持っていただける方を募って開催するもので、昨年1月に続き、今回は3回目の開催となります。

当日は、氷見にまつわるランチを味わいながら、「現在進行形の氷見」について語り合うもので、氷見から「ゲストHIMI人(話題提供者)」として、氷見の風景写真など氷見の魅力と新しい価値を様々な分野で発信する3名の方に参加していただきます。



日時・場所・内容など

- 1 日時 令和2年2月8日(土) 12:00～14:30
- 2 会場 シェア型複合施設「the C」内 キッチン付きレンタルスペース
(東京都千代田区内神田1-15-10 地下1F「C-Lounge」)
- 3 参加人数 15名程度
- 4 参加費 1,000円/人(ランチ代込) 未就学児無料
- 5 内容
12:00～12:15 イントロダクション
12:15～12:35 「氷見のワクワクするプロジェクト」紹介
12:35～12:40 料理紹介～乾杯
12:40～13:30 食事を楽しみながら
テーブルトーク①
13:30～14:20 テーブルトーク②
14:20～14:30 閉会



【ゲスト HIMI 人】

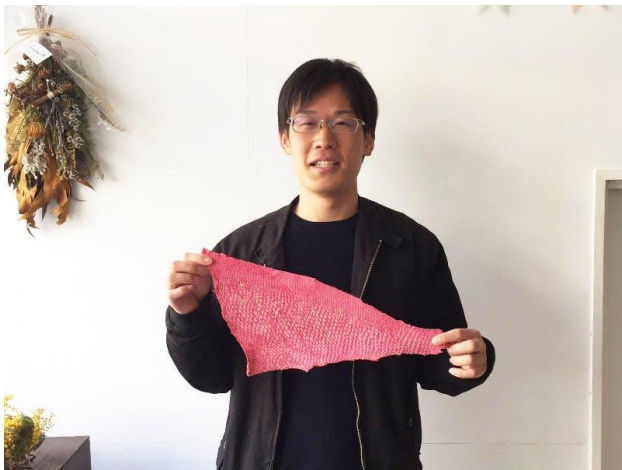
写真家 ほうじょうたくま 北条巧磨 氏



1994年、富山県生まれ。写真家。普段は機械系エンジニアとして働く傍ら、初の個展「Colour - Full」を2019年3月に氷見で開催。前例のないビアカフェ（ブルーミン）での写真展開催は、写真を通し地域と関わる手段として、新たな可能性を示す取り組みとなりました。同年7月からは氷見市へ移住し、氷見で暮らすことの魅力を、写真で丁寧に表現しています。

北条さんは、会社員として働きながらも写真家として活動中。みらいエンジンのライターとしても寄稿いただいております、その記事でも美しい写真をご覧ください。

氷見市地域おこし協力隊 のぐちともひさ 野口朋寿 氏



1993年、香川県高松市生まれ。富山大学芸術文化学部入学を機に富山県へ。

大学では漆工芸を専門に学ぶも、卒業年次に魚の革、フィッシュレザーの研究を始めたことが氷見市を訪れるきっかけになる。2018年春に氷見市地域おこし協力隊として活動を始める。地域おこし協力隊としてまちづくりに関わりながらフィッシュレザーの事業化を目指し奮闘中。

野口さんは地域おこし協力隊として活動しながら、氷見で採れた魚の皮を利用したフィッシュレザーによる商品開発事業を進行中！

ひみつカレー なか ゆうき 仲有紀 氏



大阪府高槻市出身。44歳。奈良、仙台、東京暮らしを経て結婚後、氷見市に移住。

子育てしながら、2011年、週に一度の間借りカレー店『ひみつカレー』を始める。その後テイクアウトカレー専門店となり、2019年6月に2店舗目となる『ひみつカレー古沢店』を富山市にオープン。

体に優しいスパイスと、旬の富山県産野菜を出来る限り使って、ヘルシーで美味しいカレーを提供することを心がけています。また、スパイス講座やカレー教室を開催し、スパイス普及に日々努めています。

今回のイベントでは、そんな話題のカレーを東京でお召し上がりいただけます！氷見食材とスパイスの素敵な出会いを是非ご自身の舌でお確かめください！！

お問合せ先

運営：氷見市IJU応援センター（みらいエンジン）
担当課：地域振興課 定住促進担当

担当者名：藤田（電話）0766-54-0445
担当者名：吉崎（電話）0766-74-8075

氷見市地域づくり講演会

元気な高齢者が支え合う新たな地域のカタチ
～滋賀県米原市“大野木長寿村”その元気の秘訣とは？～

概要

持続可能な地域づくりを推進するため、氷見市地域づくり講演会を令和2年2月9日(日)に氷見市いきいき元気館おおのぎで開催します。

当日は、滋賀県米原市大野木地区で「地域の課題は地域で解決する」をコンセプトに小さな新しい公共の実現に向けて、独自の地域づくりを行っている「一般社団法人 大野木長寿村まちづくり会」しみずせいいち代表理事の清水清市氏、にしあきよし前代表理事の西秋清志氏をお招きし、その優れた取り組みのノウハウや元気の秘訣についてご講演いただきます。

このほか、東・宮田・仏生寺地区の各地域づくり協議会による「おらっちや創生支援事業」成果報告や、現役の地域おこし協力隊3名による活動報告を行います。

日時・場所・内容など

1 日 時 令和2年2月9日(日) 13:00～16:00

2 場 所 氷見市いきいき元気館 3階ホール

3 内 容

第一部 13:10～14:30

講演「元気な高齢者が支え合う新たな地域のカタチ

～滋賀県米原市“大野木長寿村”その元気の秘訣とは？～」

講師 一般社団法人 大野木長寿村まちづくり会

代表理事 清水 清市 氏

前代表理事 西秋 清志 氏

第二部 14:45～15:15

おらっちや創生支援事業成果報告

東地域まちづくり協議会、宮田校区地域づくり協議会

仏生寺地域づくり協議会

第三部 15:20～15:50

地域おこし協力隊活動報告

第3期生：のぐち野口 ともひさ朋寿

第4期生：すずき鈴木 ひろみ広美、きむら木村 ゆうき祐輝

■滋賀県米原市大野木地区

人口：約400人、世帯：約140世帯

■一般社団法人 大野木長寿村まちづくり会

会員60名(役員12名)、平均年齢71歳

高齢化が進む地域に危機感を抱き、「身の丈に合った内容で、今やるべきこと、出来ること」を実施するため、平成23年に地域の有志7名が自主的に集まり立ち上げたもの。

高齢者からの要望に応じて社員を派遣する高齢者支援訪問事業や食堂の運営など多岐にわたる活動を、元気な高齢者による支え合いのコミュニティビジネスとして展開している。

■受賞歴

総務省 平成28年度「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞

共同通信社、地方新聞社 平成30年度「地域再生大賞」近畿ブロック賞



“たまり場”での中学生職場体験



“たまり場”での祝100歳誕生会

4 対 象 自治振興委員、地域づくりに関心がある人等

5 その他 入場無料

6 主 催 氷見市、氷見市自治振興委員連合会

添付資料

開催案内(チラシ)

お問合せ先

地域振興課 地域協働担当 担当者名：高林、坂下 (電話) 0766-74-8013

元気な高齢者が支え合う 新たな地域のカタチ

令和2年
日時 2月9日 日
午後1時
～午後4時

～滋賀県米原市 “大野木長寿村”
その元気の秘訣とは?～

場所 氷見市
いきいき元気館
3階ホール



入場無料
事前申込不要

第1部 講演会

一般社団法人 大野木長寿村まちづくり会
代表理事 清水 清市氏
前代表理事 西秋 清志氏

滋賀県米原市の大野木地区で、さまざまな地域の課題を、元気な高齢者による支え合いの「コミュニティビジネス」の仕組みづくりを通して解決につなげ、安心して暮らせる地域を「住民自ら」の手で作ります。

楽しく、そして無理をしない地域活動が地域の在り方を大きく変えてきた。「地域の課題は地域で解決する」をコンセプトに、1割の有志が始めたインフォーマルな取り組みが、今では7割の住民が参加する地域全体の活動へと進展する。その優れた取り組みのノウハウや秘訣を教わります。

平成28年度 ふるさとづくり大賞 団体表彰(総務大臣賞)受賞
平成30年度 第9回地域再生大賞・ブロック賞(近畿) 受賞

第2部 報告会

氷見市おらっちゃん創生支援事業報告会

平成30年度から令和元年度にかけて、「おらっちゃん創生支援事業」を活用して、氷見市内の地域づくり協議会が様々な地域活動を展開してきました。その取り組みについて、地域づくり協議会から報告をいただきます。

発表団体：東地域まちづくり協議会、仏生寺地域づくり協議会、宮田校区地域づくり協議会

第3部 活動報告会

氷見市地域おこし協力隊活動報告会

本市に移住し、地域おこし活動に取り組む「地域おこし協力隊」。現在は3名の隊員が、氷見市のために奮闘しながら、将来の定住を目標に頑張っています。彼らの報告をお楽しみください。

発表者：野口朋寿、鈴木広美、木村祐輝

地域づくりに興味をお持ちの方など、どなたでも
ご参加いただけます!お気軽にお越しください。
主催：氷見市・氷見市自治振興委員連合会

お問い合わせ先 氷見市企画政策部地域振興課
電話：0766-74-8013 FAX：0766-74-8255
電子メール：chiikishinkou@city.himi.lg.jp

新文化交流施設の 民間施設事業者を公募します

概要

氷見市では、旧市民病院跡地に整備する新文化交流施設敷地内において民間施設を整備、運営する事業者の公募型プロポーザルを実施します。

本事業(氷見市新文化交流施設民間活力導入事業)は、芸術文化をはじめとする複合機能を備えた新文化交流施設の敷地内において民間の活力を導入し、新文化交流施設と相乗効果を発揮しながら氷見ならではの魅力的な暮らしを提案する民間施設を併設し、官民一体となってまちのにぎわいをけん引する場となることを期待するものです。

日時・場所・内容など

1 事業予定地概要

所在地	氷見市新文化交流施設敷地内(氷見市幸町130番1外)
敷地面積	1,000~3,000㎡程度
用途地域	近隣商業地域(建蔽率80%、容積率200%)

2 提案に関する条件

- ・新たなにぎわいが創出でき、市民や観光客の集客方策について具体的に計画していること。
- ・施設利用者及び通行者等が気軽に立ち寄ることができ、喫茶、軽食が行えること。
- ・市内における雇用の創出や経済波及効果が期待できること。
- ・施設等の外観について隣接する新文化交流施設や周辺環境との調和に配慮すること。
- ・隣接する新文化交流施設の管理者等と相互に連携し、魅力と集客力向上を図ること。

3 募集等のスケジュール

募集要項等の公表	令和2年2月10日(月)
資料の閲覧	令和2年2月10日(月)~3月31日(火)
質疑書受付	令和2年2月12日(水)~3月31日(火)
質疑書に対する回答	令和2年2月17日(月)~4月6日(月)
応募申出書・事業提案書提出	令和2年4月13日(月)~4月30日(木)
一次評価(書類)	令和2年5月上旬
二次評価(プレゼンテーション・ヒアリング)	令和2年5月中旬
事業者決定通知書発送	令和2年5月下旬

4 応募事業者

応募事業者は、単体企業又は複数の企業により構成される応募グループとする。

お問合せ先

新文化施設建設室 担当者名：布尾、今井 (電話) 0766-74-8215

～誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」について学ぶ～ 地域セーフティネットフォーラムの開催について

概要

地域住民から福祉に関する相談や情報提供を受付する「地域なんでも相談」の取り組みについて関係者で共有し、更なる充実と地域と専門職の連携の在り方や、『地域共生社会の実現』について考えることを目的に、「地域セーフティネットフォーラム」を開催します。

講師に富山県福祉カレッジ学長の大橋^{おおはし けんさく}謙策氏をお招きし、氷見市が目指す「地域セーフティネットの構築」には欠かすことができない『地域共生社会づくり』をテーマにご講演いただきます。

※地域セーフティネットとは

全国的に、孤独死や孤立死等の事例が発生し、社会的孤立者への支援が必要となっています。

虐待、サービス拒否（支援拒否）等、社会的に孤立に陥る可能性のある市民を早期に発見し、適切な支援につなぐなど、社会的孤立者を取り巻く課題解消を目指すしくみとして、本市は「地域セーフティネット構想」をまとめました。

本市では、安全・安心な地域社会を構築するため、国の地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業を活用し、地域ぐるみで「氷見市地域セーフティネット活性化事業」に取り組んでいます。

日時・場所・内容など

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 日 時 | 令和2年2月16日(日) 13:30～16:30 |
| 2 | 場 所 | 氷見市いきいき元気館 3階ホール |
| 3 | 主 催 | 氷見市、社会福祉法人氷見市社会福祉協議会 |
| 4 | 行事、催し等の内容 | |
| | 第一部 | 氷見市社会福祉協議会会長表彰 13:30～14:00 |
| | 第二部 | 地域セーフティネットフォーラム 14:00～16:30 |
| 5 | 対 象 | 「地域共生社会づくり」に興味のある人
地域リーダー（地区社協役員、民生委員児童委員、自治会長）、行政関係者、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター地域相談員、保健・福祉・医療従事者等 |
| 6 | 申 込 | ふくし相談サポートセンターまで（電話）30-2937 （FAX）30-2913 |
| 7 | そ の 他 | 入場無料 |

添付資料

開催案内（チラシ）

お問合せ先

福祉介護課 長寿生活支援担当 担当者名：中川 （電話）0766-74-8111

地域セーフティネットフォーラム

(氷見市社会福祉協議会会長表彰式典)

開催日時 令和2年2月16日(日) 13:30~16:30

会場 氷見市いきいき元気館 3階ホール(氷見市中央町12-21)

★第一部 【氷見市社会福祉協議会会長表彰】 (13:30~14:00)

入場無料

★第二部 【地域セーフティネットフォーラム】 (14:00~16:30)

《シンポジウム》

「地域における『地域なんでも相談』の取り組みについて」

シンポジスト

女良社会福祉協議会	会長	庄谷 孫三 氏
神代地区社会福祉協議会	会長	寺林 清志 氏
朝日丘校区社会福祉協議会	副会長	村上 美奈子氏
氷見市福祉介護課	課長	高田 かつえ
氷見市社協・ふくし相談サポートセンター	主幹・CSW	山田 哲也

コーディネーター

富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

地域住民からの相談や情報提供を受け付ける「地域なんでも相談」の取り組みについて関係者で共有し、今後の充実と地域と専門職の連携の在り方や、『地域共生社会づくり』について考えることを目的に開催します。

《総括講演》

「今、求められている地域共生社会づくりとは？」

講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

日本地域福祉研究所理事長として、福祉教育論をはじめ、住民主体の地域福祉実践を通じた地域福祉計画の策定アドバイザー、コミュニティソーシャルワークの提唱など教育から福祉にわたる広い研究・実践活動をされています。

氷見市が目指す「地域セーフティネットの構築」には欠かすことができない『地域共生社会づくり』をテーマに講演をいただきます。



主催 第二部：氷見市 第一部 社会福祉法人氷見市社会福祉協議会

《お申込み・問い合わせ先》

ふくし相談サポートセンター(氷見市役所内)

TEL 30-2937 FAX 30-2913

2月10日(月)までに電話又はFAXにて申し込んでください。

氷見市・早稲田大学スポーツ科学学術院・森永製菓株式会社
産学官包括連携事業

健康づくり講演会の開催
～健康寿命の延伸に向けて～

概要

平成31年1月に氷見市、早稲田大学スポーツ科学学術院及び森永製菓株式会社による「住民の健康づくりの推進」に関する産学官包括協定を締結した早稲田大学スポーツ科学学術院の岡 浩一郎教授^{おか こういちろう}を講師に迎え、健康づくり講演会を行います。

テレビ等でも取り上げられ、反響を呼んでいる現代人の「座りすぎ」と生活習慣病との関連性や健康寿命への影響など、「座りすぎ」が体に及ぼす影響とそれを改善する方法について、紹介していただきます。

日時・場所・内容など

- | | | |
|-------|---|-------------|
| 1 日時 | 令和2年2月20日(木) | 13:30～15:00 |
| 2 場所 | 氷見市いきいき元気館 | 3階ホール |
| 3 主催 | 氷見市 | |
| 4 内容 | 「健康寿命を縮める座りすぎ
～それでもあなたは座り続けますか?～」
講師：早稲田大学スポーツ科学学術院
教授 岡 浩一郎 氏 | |
| 5 その他 | 入場無料（申込不要） | |

添付資料

開催案内（チラシ）

お問合せ先

福祉介護課 地域包括支援センター 担当者名：蟹谷、北村（電話）0766-74-8067

氷見市・早稲田大学スポーツ科学学術院

・森永製菓株式会社 産学官包括連携事業

健康づくり講演会

～健康寿命の延伸に向けて～

2月20日(木) 午後1時30分～3時

(受付1時～)

氷見市いきいき元気館3階ホール

講演「健康寿命を縮める座りすぎ

－それでもあなたは座り続けますか？－

講師：早稲田大学スポーツ科学学術院

教授 岡 浩一郎 先生

～「座りすぎ」が寿命を縮める！？～

「クローズアップ現代」や「世界一受けたい授業」で話題となったタバコよりも寿命を縮める「座りすぎ」による健康被害。

「座りすぎ」がガン、糖尿病、高血圧の原因となり健康寿命を大きく損ねていることが明らかになってきました。

あなたの生活習慣で注意すべきこと、病気になる座り方、座ったままできる予防法をお伝えします。

申込みは不要！
気軽にお越しください！



<お問合せ先> 氷見市地域包括支援センター

TEL:74-8067 FAX:74-8060

氷見市エネルギーフォーラムの開催について ～明日のエネルギーを考える～

概要

地域資源である太陽光発電などの再生可能エネルギーを活用し、分散型エネルギー社会の構築を図るとともに、域内利益の循環による地域活性化を目指す「氷見市エネルギー構造高度化実証事業」の取り組みについて皆さんに知っていただくとともに、地域社会における未来のエネルギーを考えるフォーラムを開催します。

講師に、JTBコミュニケーションデザインくろいわ たかゆきの黒岩 隆之氏をお招きし、再生可能エネルギー等のエネルギー変革が、地域社会(観光産業)にどのような影響をおよぼすのかを、先行事例の紹介を交え紹介していただきます。

日時・場所・内容など

- | | |
|-------|---|
| 1 日時 | 令和2年2月22日(土) 18:00～20:00 |
| 2 場所 | 氷見市いきいき元気館 3階ホール |
| 3 内容 | |
| 第一部 | 18:00～18:40
市長あいさつ
氷見市エネルギー構造高度化実証事業の概要と今後のエネルギー事業の展望
説明:氷見市市民部環境防犯課 |
| 第二部 | 18:40～20:00
講演
「観光産業から捉えた、100年に一度のモビリティ改革と、エネルギー変革」
講師:(株)JTBコミュニケーションデザイン 営業推進部チーフマネージャー
黒岩 隆之 氏 |
| 4 申込 | 氷見市エネルギーフォーラム事務局まで(先着200名) |
| 5 その他 | 入場無料 |

添付資料

開催案内(チラシ)

お問合せ先

環境防犯課 担当者名:大浅、塩谷 (電話) 0766-74-8082

氷見市エネルギーフォーラム

～ 明日のエネルギーを考える ～

氷見市では、「再生可能エネルギー」を活用した、地域振興に取り組んでおります。事業概要や将来展望等をご紹介し、氷見市活性化のヒントを地域の皆さまと共に考えるフォーラムです。

多数のご参加をお待ちしております。



日時

令和2年2月22日 土 (開場 17:15)
18:00～20:00

会場

いきいき元気館3階ホール

氷見市中央町 12-21 TEL 0766-74-8063

参加
無料

定員

先着 200名 締切：2/13(木)

第1部 18:00～18:40

- ① あいさつ 氷見市長 林 正之
- ② 「実証事業の概要と今後のエネルギー事業の展望」
説明：氷見市 市民部 環境防犯課

第2部 18:40～20:00

「観光産業から捉えた、
100年に一度のモビリティ改革と、エネルギー変革」

講師：黒岩 隆之氏

株式会社 JTBCコミュニケーションデザイン 営業推進部 チーフマネージャー



【主な活動】

- ・1993年日本交通公社入社、団体旅行新宿支店配属後、17年間、企業営業を担務
- ・環境省の地球温暖化対策事業で鎌倉でのEVバイクのバッテリーシェアリング実証事業や観光アプリを活用した京都クレジットの流通メカニズム構築実証事業を手掛ける。

参加をご希望の方は、裏面に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてお申込み下さい。

主催 氷見市

お申込み
お問合せ

氷見市エネルギーフォーラム事務局（北陸電力株式会社）

TEL：0766-22-2028

FAX：0766-22-9878

メール：himi-enefo@rikuden.co.jp

氷見市役所 環境防犯課

TEL：0766-74-8065

FAX：0766-74-8104

メール：kankyou@city.himi.lg.jp

【参加申込方法】

下記に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。

※氷見市役所2階の市民部 環境防犯課 窓口でも受付可

氷見市エネルギーフォーラム事務局
(北陸電力株式会社) 行

FAX 0766-22-9878

メール himi-enefo@rikuden.co.jp

※メールにてお申込みされる場合は、必要事項をメール本文に記載のうえお申し込みください。

お名前	①	(代表者)
	②	
	③	
会社名	(会社・団体の場合は会社名もしくは団体名をご記入ください)	
ご住所	(代表者のご住所をご記入ください)	
電話・携帯番号	(代表者の番号をご記入ください)	

本お申し込みで得た個人情報は、本事業以外の目的では使用いたしません。

お問い合わせ先

〒933-0057 高岡市広小路7-15
氷見市エネルギーフォーラム事務局
(北陸電力株式会社 高岡支店)
(営業部 営業担当)
TEL: 0766-22-2028

- ①応募者が定員を超えた場合、会場の都合によりお断りをさせていただく場合があります。
- ②その他、ご不明な点はお問い合わせください。

会場へのアクセス



博物館特別展「応響雑記の世界」 ～近世の氷見町を訪ねる～の開催について

概要

平成28年に博物館へ寄贈され、平成30年4月4日に氷見市指定文化財(歴史資料)になった「^{おうきょうざっき}応響雑記」全冊を初公開します。

「応響雑記」は、加賀藩領の越中射水郡氷見町で蔵宿業を営み、町役人を歴任した^{たなかやごんえもん}田中屋権右衛門が、文政10年(1827)から安政6年(1859)までの33年間にわたって書き綴った日記です。

その内容は、毎日の気象、親戚や知人の消息、町の政治や経済、年中行事、災害、騒動など多方面にわたり、江戸時代後期における氷見町の様子を知る上で、極めて貴重な史料です。

好奇心がつよく、筆まめであった田中屋権右衛門の視線を通して、今から160年から200年ほど前の氷見を紹介します。



日時・場所・内容など

- | | |
|---------|--|
| 1 期 間 | 令和2年2月28日(金)～3月22日(日)
9:00～17:00 (月曜日は休館) |
| 2 場 所 | 博物館特別展示室(氷見市教育文化センター2階) |
| 3 資料解説会 | 令和2年2月29日(土) 14:00～ |
| 4 解説図録 | 頒布価格 600円 |
| 5 その他 | 観覧無料
会期中図書館に特別展関連図書コーナーを開設 |

添付資料

開催案内(チラシ)

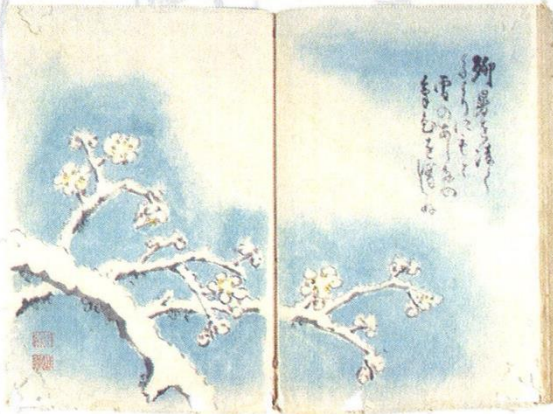
お問合せ先

博物館 担当者名: 大野 (電話)0766-74-8231

特別展

応響雑記の世界

— 近世の氷見町を訪ねる —



令和2年 **2月28日(金)** ~ **3月22日(日)**

氷見市立博物館 特別展示室 午前9時~午後5時

休館日 3月2日(月)・3月9日(月)・3月16日(月)

資料解説会 2月29日(土) 午後2時から、参加自由

観覧
無料

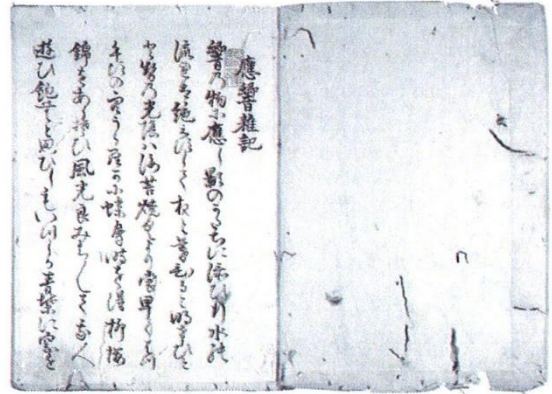
33年間書き綴られた日記

「^{おうきょうざき}応響雑記」は、文政10年（1827）から安政6年（1859）まで、加賀藩領の越中射水郡氷見町で蔵宿業を営み、町役人を歴任した田中屋権右衛門が記した日記です。その内容は、毎日の気象、親戚や知人の消息、町の政治や経済、年中行事、災害、騒動など多方面にわたり、江戸時代後期における氷見町の様子を知る上で、とても貴重な史料といえます。

また権右衛門の足跡は、延べ900日以上にわたる金沢滞在や、11回を数える越中^{にいかわ}新川郡日石寺参詣^{にっせきじ}に加え、加賀の山中温泉、能登の輪島・三崎、越中^{とまりまち}の泊町など加越能地域の隅々にまで及び、地誌としての側面もうかがえます。

さらに、異国船に備えた海岸防備のことなどが記され、幕末に向かう当時の社会の様子をうかがうことができます。

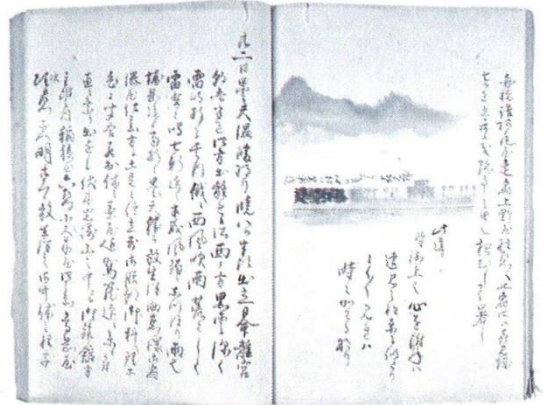
「応響雑記」は、平成28年に当館に一括寄贈され、同30年に氷見市指定文化財（歴史資料）になりました。人一倍好奇心が強く筆まめであった権右衛門が、「響の物に应じて」記した日記全冊を、初めて公開します。



巻一 冒頭部分



巻三十 相本（愛本）橋のスケッチ



巻四十六 魚津で見た喜見城（蜃気楼）のスケッチ

氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町4番9号 TEL 0766-74-8231
FAX 0766-30-7188

E-mail : hakubutsukan@city.himi.lg.jp
U R L : <http://www2.city.himi.toyama.jp/museum/>

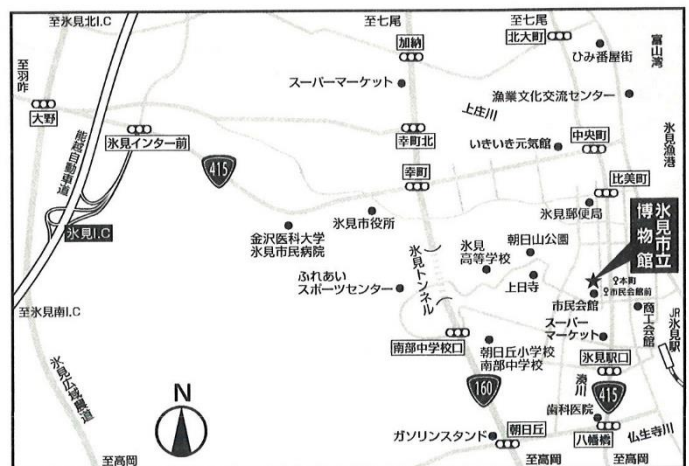
●交通機関

鉄 道/JR氷見線氷見駅下車、
北西へ500m徒歩7分。

バ ス/高岡駅前から加越能交通バス氷見方面行、
「氷見市民会館前」下車、徒歩1分。

自動車/能越自動車道氷見インターから東に3km。

●氷見市立博物館は氷見市民会館に隣接する、
氷見市教育文化センター内にあります。



～世界農業遺産・日本農業遺産の認定に向けて～ 農業遺産シンポジウム 「農業遺産の意義とその活用」の開催

概要

世界農業遺産・日本農業遺産の認定に向け、市民の皆様に農業遺産について理解を深めていただき、市全体での取り組みへと広めていくため、「農業遺産の意義とその活用」と題し、シンポジウムを開催します。

氷見には、400年前から続く定置網、里山里海の幸に恵まれた豊かな食文化、伝統芸能など数多くの地域資源があります。この素晴らしい地域資源を活用し、次の世代へ継承していく意義等について考える機会としたいと思います。

日時・場所・内容など

1 日時 令和2年2月29日(土) 13:30～15:45

2 場所 氷見市いきいき元気館 3階ホール

3 内容

(1) 市長あいさつ

(2) 基調講演・・・・・・・・・・ 13:35～14:20

「農業遺産の意義とその活用」

東アジア農業遺産学会日本事務局アドバイザー

ながた あきら
永田 明 氏

(3) 氷見市の申請概要発表・・・・ 14:20～14:35

氷見農業遺産推進協議会事務局

(4) パネルディスカッション・・・・ 14:45～15:45

パネリスト

東アジア農業遺産学会日本事務局アドバイザー

永田 明 氏

東京海洋大学 教授(氷見農業遺産推進協議会アドバイザー)

ばば おさむ
馬場 治 氏

岐阜県農政部里川振興課 課長

しみず こうじ
清水 浩二 氏

元氷見市史編さん室 学芸員

すずき みずまる
鈴木 瑞磨 氏

コーディネーター

東海大学 教授

いしかわ きたし
石川 智士 氏

4 その他 入場無料(定員100名程度)

添付資料

開催案内(チラシ)

お問合せ先

地方創生推進課 担当者名:尾山、田邊 (電話)0766-74-8011

～世界農業遺産・日本農業遺産の認定に向けて～

農業遺産シンポジウム

「農業遺産の意義とその活用」

入場
無料

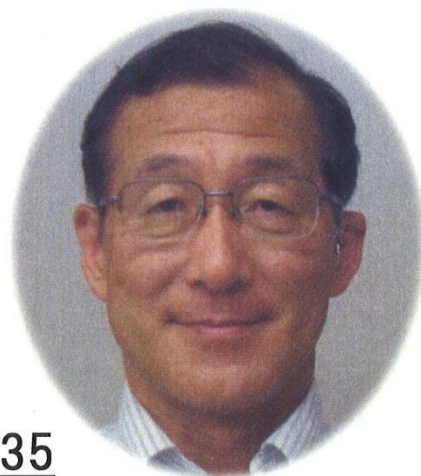
- 日時 令和2年2月29日（土）13:30から
- 会場 氷見市いきいき元気館 3Fホール

プログラム

1. 市長挨拶
2. 基調講演 13:35～14:20

「農業遺産の意義とその活用」

東アジア農業遺産学会日本事務局アドバイザー
永田 明氏



3. 氷見市の申請概要発表 14:20～14:35
4. パネルディスカッション 14:45～15:45

＜パネリスト＞

永田 明氏
馬場 治氏（東京海洋大学教授）
清水 浩二氏（岐阜県農政部里川振興課長）
鈴木 瑞麿氏（元氷見市史編さん室学芸員）

＜コーディネーター＞

石川 智士氏（東海大学教授）

問合せ 氷見農業遺産推進協議会事務局
（氷見市地方創生推進課）

☎0766-74-8011

令和2年1月中にいただいたご寄附について

一般寄附金

No.	氏名	住所	金額・物品等	寄附金の使途に対する意向等
1	氷見市立久目小学校 後援会 会長	氷見市 触坂 501 番地	フィルムスキャナー 1台 (13,360円)	久目小学校備品として
2	氷見市立久目小学校 育友会 会長	氷見市 触坂 501 番地	ミニコンプレッサー 1台 (21,450円)	久目小学校備品として

令和2年1月中にいただいたご寄附について

ふるさと応援寄附金

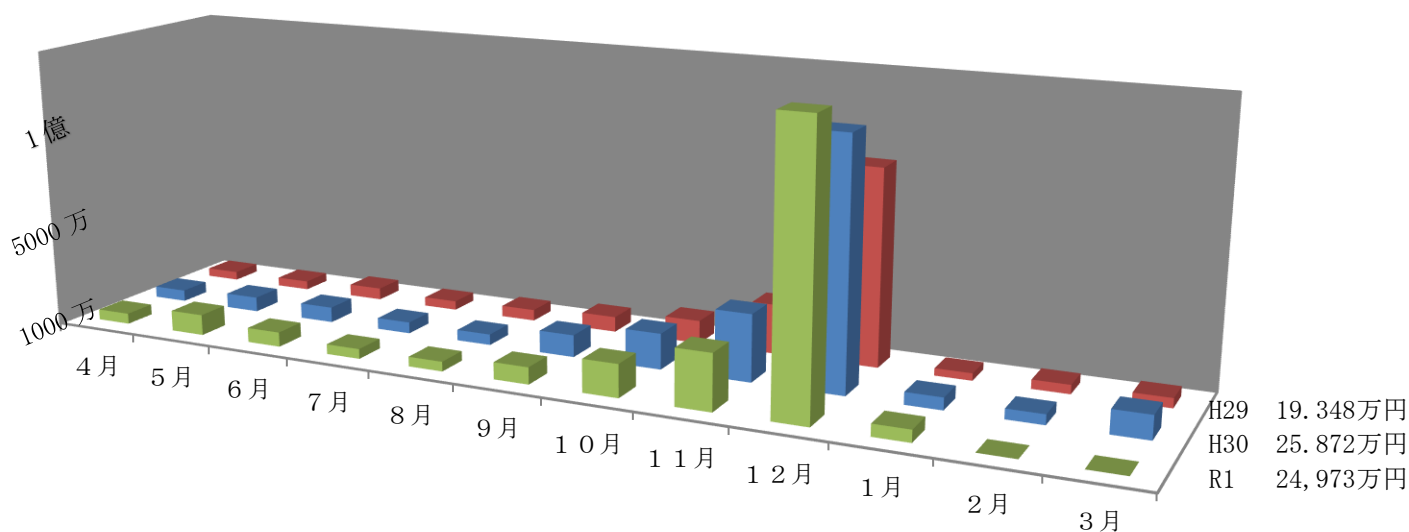
月別	寄附総額	保健医療	自然景観	観光産業	教育環境	指定なし	春中ハンド	ぶり奨学
1月計 (312件)	6,534,000	410,000	2,510,000	395,000	1,200,000	1,045,000	789,000	185,000

令和元年度

件数 (10,041件)	用途別	845	4,340	853	1,618	1,239	735	411
	ふるさとづくり基金分			7,277	教育文化振興基金分	1,618		
	スポーツ振興基金分			735	ぶり奨学基金分	411		
基金内訳	計	249,726,000		ふるさとづくり基金分	171,765,000			
				教育文化振興基金分	46,665,000			
				スポーツ振興基金分	19,721,000			
				ぶり奨学基金分	11,575,000			

平成30年

1月累計 (8,811件)	240,574,500円	平成30年度計	258,722,000円
------------------	--------------	---------	--------------



令和2年2月～3月の主な行事予定

2月

日	曜	行 事 名	資 料 ア・イ	時刻	開 催 場 所	担当課
5	水	定例記者会見	—	13:00	市役所 センター	秘書広報課
6	木	海浜植物園リニューアルに向けた 富山大学芸術文化学部との連携事業	1	10:00	海浜植物園	花みどり推進室
6	木	横浜「氷見寒ぶり懇親会」感謝の集い	—	18:30	t v kハーバースダイニング (横浜市中区)	商工観光課
7	金	令和元年度国民保護共同図上訓練	—	13:00	市役所 201災害対 策室・301会議室	地域防災課
8	土	マイナンバーカードの出張申請補助	—	10:00	プラファ	市民課
8	土	第46回氷見市青少年意見発表大会	—	10:00	いきいき元気館	教育総務課
8	土	Little HIMI	4	12:00	シェア型複合施設「the C」 (東京都千代田区)	地域振興課
8	土	第15回春の全国中学生ハンドボール 選手権大会 組み合わせ抽選会	—	14:00	ふれあいスポーツセ ンター	スポーツ振興課
9	日	氷見市地域づくり講演会	6	13:00	いきいき元気館	地域振興課
10	月	新文化交流施設の民間施設事業者募集 要項公表及び資料閲覧開始	9	8:30	市役所 新文化施設建設室	新文化施設建設室
10	月	令和2年度予算内示に伴う全員協議会	26	10:00	市役所 全員協議会室	議会事務局
10	月	令和2年度予算案の臨時記者会見	—	13:00	市役所 センター	秘書広報課
12	水	令和2年度予算内示に伴う産業建設委 員会	26	10:00	市役所 委員会室	議会事務局
13	木	令和2年度予算内示に伴う厚生文教委 員会	26	10:00	市役所 委員会室	議会事務局
13	木	氷見市副市長の全国公募開始	別紙	—	エン・ジャパン(株) 特設ページ	秘書広報課
13	木	市長室トーク	—	15:00	市役所 市長室	地域振興課

日	曜	行 事 名	資 料 費 用	時刻	開 催 場 所	担当課
14	金	令和 2 年度予算内示に伴う企画総務委員会	26	10:00	市役所 委員会室	議会事務局
15	土	氷見いちご収穫体験（～5月中旬）	—	10:00	ファーム中田	商工観光課
16	日	地域セーフティネットフォーラム	10	13:30	いきいき元気館	福祉介護課
17	月	所得税の確定申告、市・県民税の申告受付（～3/16）	—	9:00	市役所 地域協働スペース	税務課
17	月	運動実践教室 「血圧が気になる人の運動教室」	—	14:00	いきいき元気館	健康課
19	水	第 15 回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 大会ポスター掲示セレモニー	—	17:30	商工会館	商工観光課
19	水	第 15 回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 出場チーム激励式・実行委員会	—	18:30	ふれあいスポーツセンター	スポーツ振興課
20	木	健康づくり講演会	12	13:30	いきいき元気館	福祉介護課
22	土	おはなし会	—	14:00	図書館	図書館
22	土	氷見市エネルギーフォーラム	14	18:00	いきいき元気館	環境防犯課
28	金	博物館特別展「応響雑記の世界」 （～3/22）	17	9:00	博物館	博物館
28	金	ぶり奨学プログラム説明会	—	19:00	市役所 201災害対策室	地方創生推進課
29	土	ぶり奨学プログラム説明会	—	10:00	市役所 201災害対策室	地方創生推進課
29	土	農業遺産シンポジウム	20	13:30	いきいき元気館	地方創生推進課
29	土	博物館特別展「応響雑記の世界」 資料解説会	17	14:00	博物館	博物館

3月

日	曜	行 事 名	資 料 費 用	時刻	開 催 場 所	担当課
3	火	3月市議会定例会全員協議会	26	10:00	市役所 全員協議会室	議会事務局
3	火	定例記者会見	—	13:00	市役所 センター	秘書広報課
3	火	運動実践教室 「家庭でできる優しい筋トレ」	—	14:00	いきいき元気館	健康課

[令和元年12月13日開催 議会運営委員会で決定]

令和2年度予算内示に伴う各委員会日程

委員会名	月 日	曜日	時 間	場 所
全員協議会	2月10日	月	午前10時	全員協議会室
産業建設委員会	2月12日	水	〃	委員会室
厚生文教委員会	2月13日	木	〃	〃
企画総務委員会	2月14日	金	〃	〃

令和2年3月氷見市議会定例会会期日程

[令和2年2月4日開催 議会運営委員会で決定]

日 次	月 日	曜日	行 事	内 容	摘 要
	3月 3日	火	全員協議会	午前10時から 全員協議会室	
第1日	3月 4日	水	本会議	提案理由の説明	
2	5日	木	休 会	議案調査のため	
3	6日	金	休 会	議案調査のため	
4	7日	土	休 会	休日のため	
5	8日	日	休 会	休日のため	
6	9日	月	本会議	代表質問、一般質問	
7	10日	火	本会議	一般質問、議案質疑、委員会付託	
8	11日	水	委員会	産業建設委員会	
9	12日	木	委員会	厚生文教委員会	
10	13日	金	委員会	企画総務委員会	
11	14日	土	休 会	休日のため	
12	15日	日	休 会	休日のため	
13	16日	月	休 会	議事の都合のため	
14	17日	火	本会議	委員長報告、討論、採決	会期日限

備考 議会運営委員会はその都度開催する。